

The 2 Chome Times 2023年 7月号

NO1のプレミアムストリートをめざして

NO302号

2023年・7月・25日



発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス 7月号

編集：企画・商業振興部、編集長：井上晶雄 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com



フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>



2丁目目でKOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

★沖縄慰霊の日 沖縄全戦没者追悼式・石垣市全戦没者追悼式

太平洋戦争が終結して、今年で78年になります。6月23日（金）午前11時50分、糸満市摩文仁の平和祈念公園で沖縄全戦没者追悼式が執り行なわれ、久利会長をはじめ街創り協議会のメンバー数名で出席させて頂きました。梅雨明け前で天気が心配されましたが、当日は晴天となり会場を吹き抜ける風の中、玉城沖縄県知事の平和宣言、岸田総理はじめ両院議長の挨拶へと進み、高校3年生の平安名 秋（へいあんな あき）さんが心を込めて平和の詩「今、平和は問いかける」を朗読してくれました。平安名さんの「私は過去から学び そして未来へと語り継いでいきたい」の声に、参列者の多くが心の中で頷いたのではないのでしょうか。追悼式終了後、引き続き島守の塔で行われた慰霊式に参列し、焼香させて頂きました。そして、摩文仁を後にし、那覇空港に急行し石垣島に向かいました。飛行機の遅れで同日16時からの石垣市全戦没者追悼式には間に合いませんでしたが、石垣市のスタッフの方々は神戸から駆け付けた我々を待っていて下さり、追悼させて頂くことができ、その後、中山石垣市長と意見交換させて頂きました。その中で、八重山諸島でマラリア有病地帯に避難を強いられた結果、3600名余の尊い命が犠牲となった「戦争マラリア」について、熱心に意見が交わされました。戦闘や爆撃によるものではなく、マラリアで住民が犠牲となったことに、より強く不条理や理不尽さを感じました。「KOBE 夢・未来号・沖縄プロジェクト」で沖縄へ行く子供さん達にも、沖縄の素晴らしい自然だけでなく、沖縄戦の歴史的事実についてもこれからも継続して学んで頂きたいと思いました。



★POB、森川社長を招いての防犯勉強会

7月4日にPOB 森川社長をお招きし、最近の強盗事件の特徴や、未然に被害を防止するための心構えをご教授頂きました。大変分かりやすく説明をして頂きましたが、要約すると

- ① 店に不相応な不審者を早くみつける
- ② 万引きではなく、スタッフの注意を他に逸らして盗む「買い物盗」が増えており、品物のすり替えも発生している（当然、下見は入念になされている）
- ③ 閉店間際が大変危険で、シャッターを半分以上降ろし、無施錠での店内作業は外からも様子が見えず犯人にとって好都合
- ④ 実際に被害に遭うとパニック状態になり、何も覚えていない事が多く、冷静に一つでも犯人の特徴を覚える（証拠保全も重要で、出来るだけ現場を触らない）
- ⑤ 犯行時は犯人も異常心理になっているので、受傷しないように犯人を刺激しない

これらの内容を説明された後に、実際に犯人に腕を掴まれたりした場合の防御術も教えて頂き、参加者同士で試しに実践してみましたが、これはなかなか難しそうでした。やはり一番の防御術は「自分だけは被害には遭わないであろう」という「油断」だと思いました。どうぞ皆様もご用心あれ！！



★今年の花火大会も昨年に続き10月になりました

1971年より「みなとこうべ海上花火大会」が開催されてきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、2019年（第49回）の開催を最後に中止となっていました。以前は2丁目振興組合でも花火大会を盛り上げるべく事前に観覧チケットを用意し、皆様にお配りしていました。昨年（2022年）は、コロナ禍が長期化する中で、市民を元気づけ、神戸ウォーターフロントの賑わい創出を図るため、分散型花火イベント「みなと HANABIー神戸を彩る5日間ー」として10月17日（月曜）から21日（金曜）の平日5日間で開催されました。今後も残念ながら従来の形での「みなとこうべ海上花火大会」から実施形態が改められ、持続可能な花火イベントとして、より安全に開催していくため、分散型花火イベント「みなと HANABI」として実施される予定です。今年は10月16日（月）～20日（金）の五日間で行われ、各日18:30～18:40の10分間、音楽と花火をシンクロさせて打ち上げる「音楽花火」が予定されています。



★陸上自衛隊中部方面 音楽パレードが開催！

昨年に引き続き今年もアートスクエアにおいて素晴らしい音楽ショーが楽しめることになりました。

陸上自衛隊中部方面音楽隊によるイベント、「Brass Squad」がアートスクエアにやって来ます！迫力ある演奏で大変好評であった演奏会「Brass Squad」が今年も陸上自衛隊中部方面音楽隊によって華々しく開催されます。

昨年大変好評で、3回行われた演奏での聴衆の合計は1200名を優に超えていました。昨年は見逃された方もこの機会にぜひ、華やかな演奏をご覧ください！！ 加えて、今年陸上自衛隊中部方面隊公式 YouTuber も登場します。音楽の力で自衛隊の魅力をたっぷりとお届けします。



日時：令和5年7月29日（土）

1回目 13:00～

2回目 16:00～

場所：三宮インフォメーションギャラリー前

主催：自衛隊と共に歩む会（隊共会）

問い合わせ：06-6958-3806

※当日は混雑が予想されます。皆さんが安全に安心して演奏会を楽しめるよう、係の指示に従ってください。ご協力をお願い致します。



★編集後記

昨年の4月にウクライナの首都キーウから神戸に家族4人で避難してきたマリー・ダニエルさん（18）から久利会長に感謝の手紙が送られました。内容は久利会長が注いできた無私無欲の避難民へのサポートに対する感謝を表明したものでした。マリーさんはカナディアンアカデミーを卒業し、今後ポーランドの大学に進学予定です。新聞記事にもなりましたが、8月5日まで炭酸煎餅で有名な有馬の平野屋本舗で短期アルバイトとして働かれています。平野社長とは言葉の壁のため細かい意思疎通ができないことがあっても、互いを思いやる心で信頼関係が生まれています。そう言えば角界でも新十両にウクライナ出身の獅子関が昇進されました。また相撲新弟子検査に同じく兵庫県に避難してきたウクライナ出身の19歳の若者が合格しました。形が違ってはいてもこれらのウクライナ出身の若者達には日本人の温かい気持ちや何とか力になりたいという思いが届いているのではないのでしょうか。見知らぬ相手でもお互いの目を見て、膝をつき合わせれば不信感も吹き飛び、きつとうまく付き合えるのにと、未だに終わらないウクライナ紛争を考えてしまいました。

美しい街 共に歩む ビルメンテナンス

つるかめ管財株式会社 078-371-3589

